

# 2019（平成31・令和元）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 1 事業の総括

2019年度は以下に挙げる事業を重点的に展開しましたので報告をさせていただきます。

### (1) 市民活動の発展と継続のための支援を実施する。

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の指定管理者として管理運営を行っています。（第4期指定管理期間（5事業年度）における運営2年目）市民活動の発展と継続のための支援として、それぞれの施設の特性を活かしつつ、両施設一丸となって市民活動支援を進めてまいります。

なお、同じく場の提供事業として、貸会議室「フジサワラボ」（当団体入居ビルの別階）がスタートしていますが、前年度において収益化については見通しが不明な状況として、本年度に継続可否について検討をいたしました。理事会での事業継続是非等の議論も踏まえ、ゆるやかに事業終了するべく、準備を進めています。

### (2) 市民活動への参加機会を拡充すること、またそれに伴う調査・研究を実施する。

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への市民活動参加機会の提供を行いました。

学生等に向けたNPOへのインターンシップ事業は6年目を迎えました。参加する若者がインターンをするだけでなく、事業内のイベントを若者主体で企画・運営するプログラムとなっており、参加する若者はもちろん、多くの学校や市民活動団体に好評です。なお、多様な財源を活用して実施してきましたが、次年度以降も様々な資金調達手法を活用し、事業を継続・実施をしてきたいと考えています。

神奈川県的人生100歳時代ネットワークに係る事業として、昨年度のアズビル（株）、オイレ工業（株）の2社に加え、今年度は大塚製薬（株）に対し支援プログラムを作成、社員の皆様に対し、フィールドワーク（市民活動団体へのボランティア体験）を企画しました。

次年度に迫ったオリンピック・パラリンピックに向けて「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業が本格化してきました。本事業は同大会をきっかけとして、市民活動への参加機会の拡充を目的に進めており、オリパラ関連を含め、様々な市民活動情報を団員に発信をしています。

(3) 非営利組織の評価に関する研究と、自己診断事業による支援を実施する。

(一財) 非営利組織評価センター (JCNE) 協力のもと完成した「組織診断ツール (自己診断シート「組織を支える 17 の視点」)」を活用した事業を展開しました。昨年度に引き続き JCNE 委託事業を行いつつ、シートの周知も併せて実施しました。

また、自己診断シートを活用した組織診断の収益化のため、プレ実施 (NPO 法人 3 団体) を行いました。(プレ実施は無償実施) シート集計結果と、そこから読み取れる内容について報告する場を各団体において設定。プレ実施で見えてきた課題 (伝え方・データの見せ方) 等を改善することで、満足度の高い組織診断を目指します。

さらに、この事業を広げるべく、神奈川県助成事業である「かながわボランティア活動推進基金 21(事業所管部署:神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター基金事業課)」の 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、選考の末選定されました。17 の視点を活用して中間支援組織のスキルアップと実施団体の課題解決に向けた「セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業」として実施します。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

2019 年度末より新型コロナウイルスの感染が拡大したことにより、世界規模で拡大防止の施策が行われています。当団体としては、市民活動団体に必要と思われる様々な情報を収集を行い、指定管理施設である市民活動推進センター・市民活動プラザむつあいの団体活動支援として、ホームページ上で「新型コロナウイルスに関する参考情報」の展開を図りました。更に、電話での活動相談や印刷等の作業代行を行うことで、利用者の立ち入りが制限される中でできる限りの対応を開始しました。(2020 年 5 月 31 日まで継続)

また、3 月より各種事業の延期・中止対応や翌年度の事業のスケジュール変更・中止を余儀なくされています。特に 2020 年の「東京オリンピック・パラリンピック」については延期が決定したことで「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事業の計画が大幅に変わることが予想されます。当団体では、オリンピックを一つの市民活動を盛り上げる機運と捉えて次年度の計画を進めてまいりましたが、そうした目標を踏まえつつも、存続の危機や運営状況の悪化に見舞われた団体の支援に、全力を尽くすべく事業を進めてまいります。

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人) -----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人) ---	認定特定非営利活動法人
(公財) -----	公益財団法人	(一財) -----	一般財団法人
(一社) -----	一般社団法人	(株) -----	株式会社
(有) -----	有限会社		

## 2 事業の内容

### (1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業（支出額 2,659,343 円）

#### ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、課題解決のためのアイデア提案事業「フジソン2019」や「湘南・こどもの未来を夢みる会」、市民活動団体の交流事業として「プラザdeカフェ」や「集まれ、子どもセミ調査団」など、合計14回開催した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、藤沢商工会館ミナパーク、ちびっこ保育園/藤沢園、藤沢市市民活動プラザむつあい、六会公民館、六会市民センター
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座（NPO マネジメント講座）を 11 回、PC 関連講座（IT サポート講座）を 11 回実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### ウ 地域版組織診断システムの運用

（一財）非営利組織評価センター（JCNE）協力のもと完成した「組織診断ツール（自己診断シート「組織を支える 17 の視点」）」を活用した事業展開を進めた。

昨年度に引き続き（A）JCNE 委託事業として「非営利組織のための第三者組織評価業務」を実施した。加えて 17 の視点の説明会として（B）及び（C）自己診断シートを活用した組織診断のプレ実施を行った。

##### A「非営利組織のための第三者組織評価業務」

JCNE が展開している「グッドガバナンス認証（ベーシック評価・アドバンス評価）」の広報・普及や制度説明会開催業務を行った他、「組織を支える 17 の視点」の周知・活用のための広報活動を行った。

市外への周知：神奈川県内 NPO 支援センターCEO 会議

第 35 回民間 NPO 支援センター・将来を展望する会（CEO 会議）

市内への周知：組織を支える新しい取り組み「自己診断」と「組織評価」を学ぶ！

（市民活動推進センター協力事業）

B 団体に関わる人たちの声を聞く…「セルフチェック ～組織基盤強化のための 17 の視点～」  
機構主催事業として 17 の視点の活用等を説明した。

#### C NPO に向けた組織診断のプレ実施

本シートに興味関心のある NPO 法人 3 団体に対し自己診断シートの配布を配布。回収後、  
集計結果表と結果から読み取れる事項に関して、団体関係者への説明を行った。プレ実施の  
ため無償で実施したが、今後は有償化を考えている。

- ①日時 A 年間随時、B 2019年11月2日、C 年間随時
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 診断実施NPO法人、市民活動団体関係者、全国中間支援組織関係者

#### エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営と、  
「CAMPFIRE」「GoodMorning」での運営サポートを行い、4,032,500 円の資金調達を支援した。  
2018 年度より寄付型・購入型が扱えるようになり、今年度初めて寄付型でのプロジェクトを  
取り扱った。弊機構がクラウドファンディングサイトを運営していることの認知度が向上し、  
プロジェクト数は 2018 年度と比べて 1.5 倍となった。プロジェクト数は増えたものの、金額  
は減少しているため、プロジェクト数を担保しつつより質の高いサポートを行うことが今後  
の課題である。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
ふじさわアートフェスティバル実行委員会	135,000	67%	35人	2019/4/15	2019/5/15
合同会社萬葉楽	507,000	42%	56人	2019/9/20	2019/11/30
藤沢 自然と親しむ会	59,000	19%	13人	2019/10/4	2019/11/12
勇 碧	886,500	110%	116人	2019/11/7	2019/12/10
藤沢市観光シティプロモーション課	2,014,000	201%	189人	2019/11/15	2019/12/19
ネイリストセイジ	230,000	23%	27人	2019/12/5	2020/1/31
(N) 逗子まちなかアカデミー	141,000	14%	27人	2019/12/7	2020/1/31
さむかわ音楽ひろば	60,000	20%	21人	2020/3/17	2020/4/15

#### オ SAVE JAPANプロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

全国の希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「損保ジャパン日本興亜(株)(東京都)」と「認定NPO法人日本NPOセンター(東京都)」との協働事業の神奈川県実施事業として、「(N) ゆい(神奈川県茅ヶ崎市)」を3年間サポートしている。2019年2月に実施した「湘南海岸カントリーコードを考える交流会」について「交流会レポート」を作成した。2020年6月29日(土)に湘南茅ヶ崎海岸にて砂草の植栽会を実施予定だったが、雨天中止となった。※本年度で協働事業は終了するが、本事業のネットワークを活かし「(仮称)湘南なぎさのガイドライン」の策定に向けた事業を展開する検討をした。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体と参加市民

#### カ 災害復興活動団体への支援事業

市内各種イベント内での被災地製作製品等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に10台のPCを整備・再生を行った。また、被災者や被災事業者の食品や雑貨の販売を通じた被災地支援を実施。レンタルボックス「おはこ」での委託販売を実施した。

- ①日時 年間 ※「おはこ」は2019年4月1日～2019年9月30日
- ②場所 レンタルボックス「おはこ」、ゆくり庵、藤沢市市民活動推進センター、各イベント会場
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 復興支援事業に興味があり、公益的な市民活動を行っている又は興味のある団体(※)と個人

## キ 災害復興支援事業

令和元年台風15号・19号被災地支援のため、寄附活動（※）等の災害復興支援事業を実施した。台風19号発生時には、スタッフの長野県NPOセンターへの応援派遣（2019年11月1日～11月4日）を行った。※募金総額25,502円

また、「広域連携かながわ図上訓練第実行委員会（準備会2019年6月6日、第1回7月25日）」、「災害時における中間支援組織の12の役割（2019年10月28日）」、「災害時における三者連携・協働に向けた研修会（2019年12月3日）」など、新たな取り組みや研修への積極的な参加を行い、組織としての災害時支援のあり方を改めて見つめなおした。

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| ①日時    | 年間                            |
| ②場所    | 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、長野県庁ほか |
| ③従事者人員 | 2名                            |
| ④受益対象者 | 被災地で活動している市民活動団体等             |

## ク 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力（審査会等への参加、アドバイス等）を行った。

- |        |           |
|--------|-----------|
| ①日時    | 年間        |
| ②場所    | 助成組織の事務所他 |
| ③従事者人員 | 4名        |
| ④受益対象者 | 各種助成組織（※） |

※参考：参加助成プログラム等

- ・（公財）かながわ生き生き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・平塚市市民活動補助金審査会
- ・行政関連：綾瀬市、相模原市、二宮町、藤沢市

## （2）市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業（支出額54,427円）

### ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を2,587件（※1）収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、8,829件（※2）発信を行った。

引き続き、レディオ湘南（藤沢エフエム放送株式会社）の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信（51回）を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算200回を超えて、定着してきたように思う。

- ①日時 年間随時
- ②場所 情報の届く範囲
- ③従事者人員 10名
- ④受益対象者 市民活動に興味のある者

※1：収集情報数：2,587件

※持込形態内訳

来館：486件、郵便：1,722件、庁内メール：246件、FAX：5件 Eメール：17件  
 スタッフ持込：110件

※情報形態内訳

団体PR 217件、発行物 1,116件、イベント 1,197件  
 ボランティア募集 24件、NPO支援情報(助成金等) 241件、その他 33件

※2：情報提供数：8,829件

※内訳

情報ラック 1,556件 掲示板 1,148件  
 ファイリング 2,532件 メールマガジン 305件  
 HP(イベント情報) 1,181件  
 情報クリップ 297件(イベント情報、募集情報等)  
 市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))  
 ボランティア情報 52件(ボランティアーズ 23号、24号)  
 ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 75件  
 レディオ湘南「palette」による情報発信 51回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等

## イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

### ①市民活動団体の活動状況調査

登録団体・市内 NPO 法人の活動状況やボランティア受入れの実態を調査することで、今後の市民活動支援に向けた、参考資料とする。(調査対象：藤沢市市民活動支援施設の登録団体 427 団体、未登録の藤沢市内の NPO 法人 111 団体、計 538 団体)

### ②新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート調査

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動にどのような影響が及ぼされたのか、さらに、今後どのような支援策を講じると良いのかを共有し、この状況を乗り切るための方策を調査するために実施した。(調査対象：藤沢市市民活動支援施設に関わりのある NPO・市民活動団体および個人等)

### ③市民活動支援に関する研究

昨年度同様、他市NPO支援センターへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転手法の構築及び市民活動支援に関する研究を行っている。

- |        |   |
|--------|---|
| ①日時    | ①2019年10月10日(木)～2019年11月10日(日)<br>②2020年3月15日(日)～2020年3月31日(日)<br>③年間 |
| ②場所    | ①及び②藤沢市内、③逗子文化プラザ市民交流センター   |
| ③従事者人員 | 5名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体および市民   |

### ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間22回参加した。また、インターンシッププログラムを8団体(※)受け入れた。

※(N)アズヴェール藤沢スポーツクラブ、(N)Nico's Company、(N)幼児武道教育振興会、(N)ハーモニーインターナショナル、(認N)藤沢市民活動推進機構、(N)鎌倉あそび基地、(N)横須賀創造空間、藤沢市民まつり実行委員会

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| ①日時    | 年間随時                  |
| ②場所    | 藤沢市内                  |
| ③従事者人員 | 5名                    |
| ④受益対象者 | スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他 |

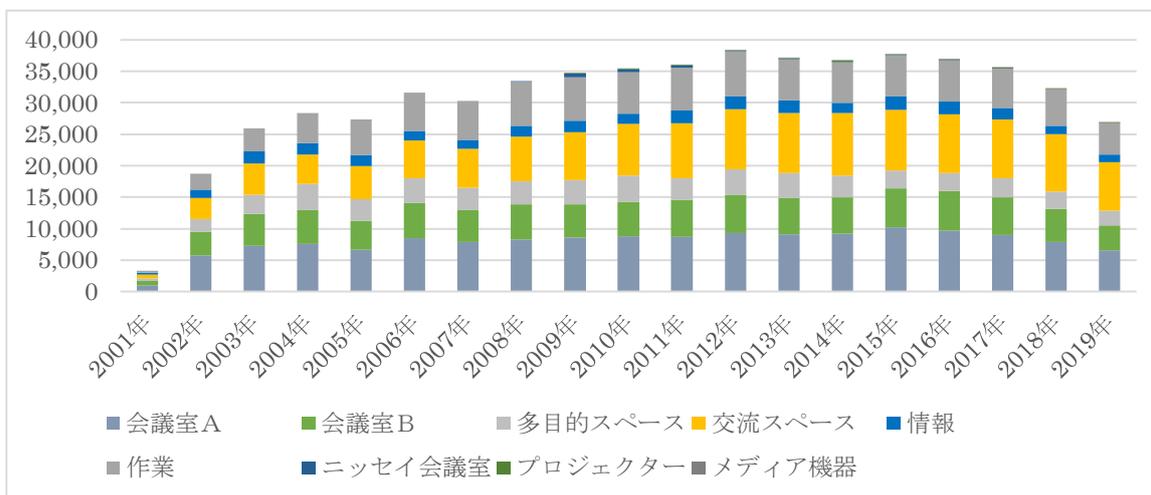
### (3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業 (支出額 12,712,965円)

#### ア 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定されており、今年度は2年目の管理運営となる。なお、3月6日より新型コロナウイルス拡散防止の観点から、休館措置が取られ、利用者の利用制限が設けられていた。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

- ①日時 年間（開館287日）
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 15名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



#### 藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

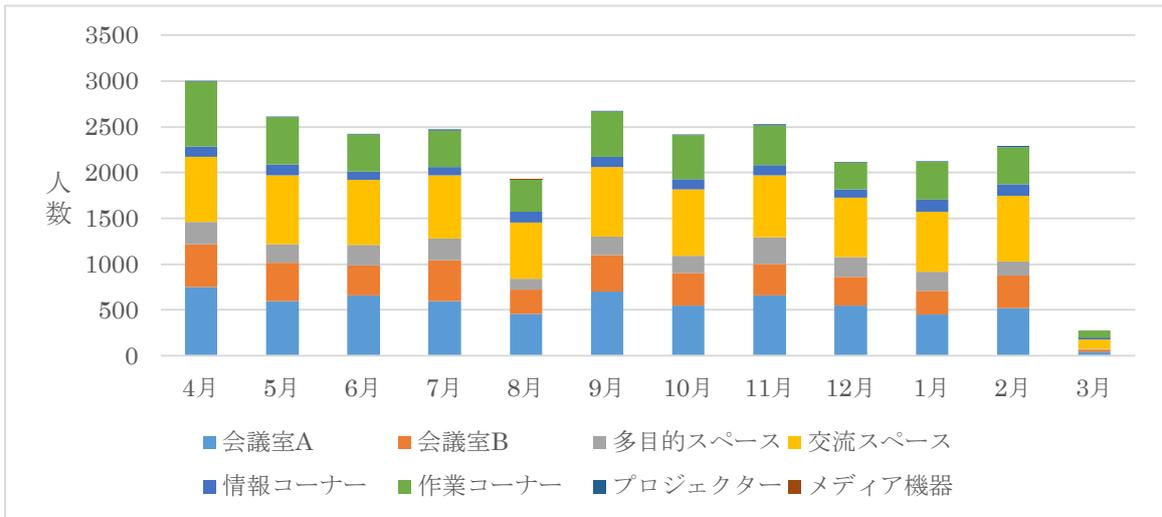
年間延利用者数：26,878人      1日利用平均人数：93.65人  
 年間利用件数：8,453件      1日利用平均件数：29.45件

#### イ 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設分館の施設管理運営を行う。3月6日よりの利用者の制限も「ア」と同様に実施された。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理

- ①日時 年間（開館255日）
- ②場所 市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：3,674人      1日利用平均人数：13.1人  
 年間利用件数   ：1,552件      1日利用平均件数：5.45件

ウ フジサワラボの管理運営

公共施設では対応できない講座やイベント利用を考えている団体等に向けた「場」の提供を目的に、レンタルスペース「フジサワラボ」の運営を実施。上半期は「ワークショッププラザ湘南」が担当していたが、利用が広がらない事から機構が運営を実施した。

(利用団体 10 団体、利用件数 31 件)

- ①日時                   年間
- ②場所                   藤沢市内
- ③従事者人員          3名
- ④受益対象者          市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業 (支出額 4,803,306 円)

ア 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

市民活動団体の運営支援として、藤沢市民の IT リテラシー向上を目的とした「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」事業を活用して、NPO 法人 IT サロン藤沢の事業展開・団体成長のサポートを行った。

「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」事業は、年間で相談会 282 回開催 1213 名参加、講座は 127 回開催 547 名参加する事業へと発展し、支援対象団体も任意団体が NPO 法人格を取得するに至り自立化を果たした。(本年度で事業終了)

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 市民活動団体と参加市民

## イ イベント等プロデュース事業

市民参加を推進するために、藤沢市民まつりをはじめとする各種イベント等の企画へ参画した。主に学生や20代の社会人を中心とした世代を対象に、地域との継続的な関わりを持つことや市民活動に触れるきっかけづくりを目的に、ボランティア等を手段とした述べ88人の地域参画の機会提供を行った。

- ①日時 平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
イータウン・イーマルシェ@東奥田公園	毎月第4日曜日	9名
お話のプロが教える「絵本の音読」@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	毎月第3木曜日	21名
第17・18回ふじさわちよい呑みフェスティバル@藤沢駅南口	17回5月7・8日（火・水） 18回11月12・13日（火・水）	17名
人生カフェ@ODAKYU 湘南 GATE	6月8・9日（土・日）	3名
おととき♪@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	7月28日（日）	2名
第46回藤沢市民まつり@秋葉台総合公園・体育館	9月28日（土）	13名
えほんのPOPをつくろう@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	10月10日（日）	3名
SHONAN AUTUMN FES2019	10月20日（日）	4名
ふくし村のアートな縁日@湘南ふくし村	11月23日（土）	8名
フジソン2019	2020年1月22日（水）	2名
社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム成果発表会	2020年2月8日（土）	6名

## ウ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。「事務力アップコース」では市民活動支援施設の情報誌の発送作業や館内管理の補助を行った。また、企画運営コースでは、市民活動支援施設主催の事業の運営サポートとして関わっていただいた。

※サポーター119名、アドバイザー28名(2020年3月31日現在)

サポーターの内訳(重複あり)

事務力アップコース 56名、企画運営コース 53名 コース無 28名

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

## エ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

- 全国
  - ・民間 NPO 支援センター・将来を展望する会
  - ・ICT 支援者ネットワークミーティング
- 神奈川県
  - ・神奈川県支援施設 CEO ミーティング
  - ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
  - ・地域ボランティアエアポート連絡会
  - ・かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議
- 藤沢市
  - ・藤沢市市民活動推進委員会
  - ・藤沢市シティプロモーション委員会
  - ・藤沢市情報公開制度運営審議会
  - ・藤沢市生涯学習大学評議会
  - ・藤沢市ワークライフバランス会議
  - ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
  - ・上記支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会

- ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
- ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
- ・藤沢市社会教育委員会
- ・藤沢市公民館検討委員会
- ・北部各地区郷土づくり推進会議
- ・藤沢市青少年問題協議会
- ・藤沢市民まつり実行委員会

- 他市等
- ・(仮称) 鎌倉市市民活動推進条例検討会
  - ・横須賀市市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会
  - ・文京区新たな公共プロジェクト成果検証会議
  - ・NPO インターンシップラボ実行委員会

#### (5) 市民参加によるまちづくり推進事業 (支出額 5,397,046 円)

##### ア 藤沢市内イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベント（藤沢市民まつり等）を中心に参加支援を行った。機会提供などを含め、市民活動団体延べ37団体の参加を支援した。

- |        |               |
|--------|---------------|
| ①日時    | 年間            |
| ②場所    | 藤沢市内および近隣     |
| ③従事者人員 | 2名            |
| ④受益対象者 | 市民活動団体およびその関係 |

##### イ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2019 ((公財) 電通育英会助成事業)」を行った。

また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。  
(参加団体：8 団体、ワカモノインターン：8 名)

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市民

活動推進センター協力のもと事業を実施した。

※高校生：80 時間以上（上限 100 時間）、ワカモノ：120 時間以上（上限 200 時間）

#### B 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：7 名（神奈川大学、多摩大学、国際基督教大学、日本大学、早稲田大学）

学生以外：受入人数 延べ 182 名、受入日数 126 日、スタッフ延べ対応時間数 476.25 時間

内訳 ミラトレ藤沢（運営：パーソルチャレンジ(株)） 延べ 100 名、49 日間

就労移行支援事業所 LITALICO ワークス横浜戸塚、藤沢、横浜東口ほか

延べ 77 名、72 日間

バックアップ藤沢（運営：(社福)いきいき福祉会・(一社)インクルージョン

延べ 4 名、1 日間

- |        |  |
|--------|--|
| ①日時    | 年間   |
| ②場所    | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、<br>各市民活動団体の活動場所等、藤沢商工会館ミナパーク |
| ③従事者人員 | 10名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民  |

#### ウ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対して研修事業等の支援を目的に、A 六会人材センター運営事業、B 「湘南台地区地域サポーター養成講座『はじめよう！地域ボランティア塾』」を実施した。

##### A 「六会人材センター運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」

地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。年度末は新型コロナウイルス感染拡大を予防する観点から学習サポートなど

※団体登録18件、サポーター登録52名、依頼案件18件、

マッチング27件（うち不成立3件含む）、サポーターの活動のべ198人

##### B 「湘南台地区地域サポーター養成講座（講座名称：はじめよう！地域ボランティア塾）」（湘南台地区郷土づくり推進会議業務委託事業）

「地域の仕組みを知る」「ボランティアを考える」「卒塾生の活動紹介」等、地域の事を知り、その後ボランティア概論、ボランティア体験・体験談、意見交換などを行い、地域内における活動人口を増やしていくことを目的として実施。

ボランティア体験として、湘南台子育てメッセの準備日及び当日に参加した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### エ 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、NPO 活動相談及び多様な主体との協働を推進するための相談対応（66件）及び「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」に関連したアドバイスやオブザーバー参加に参加した。

企業との相談・アドバイスを行った他、ウスイホーム（株）の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、（株）伊藤園とのチャリティベンダー（社会貢献型自動販売機）設置サポートは継続して行っている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### オ 地域グループ支援事業

藤沢市「高齢者の通いの場事業」として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らせるよう活動を続けている。又、町内会に加入して地域との連携や、東部包括いきいきサポートセンター、藤沢市健康づくり応援団などと連携・交流を図っている。春には応援団主催の市役所で開催された地域活動見本市に参加し、ゆくり庵の作品や活動を紹介した。

新型コロナウイルスの影響で、感染拡大防止のため3月より閉所。開所については2020年6月までは閉所の方角である旨を伝えられている。

- ①日時 年間（開館198日 ※火・水・木・金・隔週土）3月は閉所
- ②場所 藤沢市藤沢644番地
- ③従事者人員 7名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

#### カ オリンピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業

オリンピック・パラリンピックを藤沢から盛り上げる「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」の運営を行った。事務局運営の他、情報発信(LINE:85回、メルマガ:49回、広報誌:3回)、団員企画の活動サポート(全61回)、ボランティアの募集受付(全8回)、応援団イベント・参加型キャンペーンの実施(全11回)等の活動を行った。

(委託事業名:「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局運営等業務委託)

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

#### キ かながわ人生100歳時代ネットワーク連携事業

企業で働いている現役世代に対し、「地域社会や市民活動等について理解を深め、人生設計について考えるきっかけ」を与えることを目的としたプログラム開発を神奈川県から委託され実施した。(事業名「生涯現役マルチライフ推進」支援プログラム開発業務委託)

昨年度のアズビル(株)、オイレス工業(株)の2社に加え、大塚製薬(株)に対し支援プログラムを作成。フィールドワーク(市民活動団体へのボランティア体験)を行い、延べ15名が市民活動団体の活動に参加をした。(4イベントのうち、2件はコロナの影響で中止)

- ①日時 2019年11月末～2020年3月31日
- ②場所 アズビル(株)、オイレス工業(株)、大塚製薬(株)、受入市民活動団体
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

#### (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3 その他

#### ア 会議の開催(総会・理事会等)

理事会:2019年6月9日(日)、2019年6月16日(日)、2019年11月4日(月)

2020年2月16日(日)、2020年3月28日(土)※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

通常総会:2019年6月16日(日)